

# Rotary Club of AMA weekly report.



2022~2023年度  
国際ロータリーテーマ

IMAGINE  
ROTARY

イマジンロータリー



2022-2023年度 RI会長 ジェニファー・E・ジョーンズ

第2760地区ガバナー 籠橋 美久

会長 臼井 幹裕 副会長 後藤 裕一

幹事 大西 晃弘

例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル

【公共イメージ向上委員会】

委員長 神戸 剛 副委員長 中澤 浩一

委員 船原 久尚・後藤製装美・稲垣 秀樹・黒野晃太郎・渡辺 均

【事務所】〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail:kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

## 2023年 4月10日(晴れ) 第2週 第2424回例会

Song ” 日も風も星も”

### Attendance

会員	68名	欠席	9名	出席率	83.64%
----	-----	----	----	-----	--------

### President Time

臼井幹裕 会長



皆さん、こんにちは。昨日の地区研修・協議会にご参加の皆さま、お疲れ様です。加藤春視会長エレクトはじめ発表者の皆さま、記憶が新鮮な中、ご報告を後ほどよろしくお願ひします。次年度の役員・理事、各委員長の皆様は、地区研修・協議会で学んだことを踏まえて次年度のクラブ計画書の事業計画作成に取り組んでいただきますとありがたいです。本年度は、幸いクラブ計画書に予定のとおり例会を開催できています。例会なくしてロータリーは存在しないという強い気持ちで、例会を学びの場、親睦の場とする目標で進めて参りました。たまたまロータリーの友にガイ・ガンディカーに関する「ガイ散策」というコラムがあり、例会の意義を強調する記事を目にしましたので、本日もお配りしました。①奉仕の扉を開く、②心に最高の職業倫理基準を刻む、③卓話の重要性、④会員の事業発展につな

がる、⑤夕刻にふさわしい例会とは、⑥親睦を育むという6つの見出しを読むだけでも例会の大切さが分かります。

さて、本日の会長挨拶では、お金の話を少しします。言うまでもなく、お金によっていろいろな商品を購入したり、サービスを受けたりできます。信用を背景にお金そのものを受け取り、後で返す形で金融を受けたりもしています。お金は融通がきいて便利なものです。でも、こんなこともありました。私が弁護士の駆け出しのころ、交通事故の示談交渉でお支払いする賠償金を提案しました。被害者の方は、納得されず、それは保険会社が支払うお金でしょ、ぶつけた本人からいくら払ってくれるのかと言われました。当初私は、彼は自動車保険の理解が乏しいのか、欲張りなのかと思いました。しかし、彼にとっては、お金には名前が書いてあって、加害者のお金であることが重要なことだと分かりました。また、先般ある雑誌で、コロナ対策で国民に一律10万円が支払われた「特別定額給付金」など政府がバラマキ的財政支出を行い、その場限りの施策になりがちであると批判する記事がありました。これも、お金に名

### Today

4月17日(第2425回)

担当 黒川元則 プログラム委員長

演題 会員卓話

「大竹初代会長とあまRC周年事業」

大竹敬一会員

### Next Week

5月 8日(第2426回)

担当 篠田耕伸 保健委員長

演題 卓話

青本道春会員

保健委員会

前をつけるのを誤ったのだと思いました。そういう意味で言えば、この時期、クラブも、実は弁護士会という組織も、年度予算を組む作業になるかと思いますが、その作業はお金に名前をつけるということなんだと今さらのことですが、理解しました。名前を簡単に付け替えたりしないよう、よく考えてつけないといけませんね。

## Secretary Report

## 大西晃弘 幹事

- 1 ロータリーレートが4月1日より1ドル133円（3月136円）に変更となりました。

## ニ ヨ ボ ッ ク ス

### ご投函有り難うございます

臼井幹裕 会長

次年度のための地区研修・協議会に参加の皆様、ご報告をよろしく申し上げます。

ナゴヤドームに応援に出かけましたが、負けました。

ドラゴンズがんばれ！

後藤裕一 副会長

地区研修・協議会参加の皆様、お疲れ様でした。発表される方、よろしく申し上げます。

大西晃弘 幹事

台湾・汐止RC41周年行事、是非ご参加ください。

加藤春視君

昨日は2023-24年度地区研修・協議会にご参加の皆様、お疲れ様でした。本日発表の皆様、よろしくお願いいいたします。

黒野晃太郎君

地区研修・協議会出席の皆様、お疲れ様でした。久しぶりに服部パストガバナーにお会いすることが出来ました。

青本道春君

毎日出勤する時に、246号線の深田の交差点を曲がります。交差点では綺麗な花が一杯咲いています。あまRCの補助金と、地元の方達のボランティアの共同事業で、素敵な交差点を生み出しています。年々花のセンスが良くなっているような気がします。心和む交差点です。心和むあまRC補助金事業です。

加藤 徹君

昨日の地区研修・協議会終了後、1時間並んで「びよりん」を買って帰りました。美味しかったです。

横井久雄君

2年ぶり12回目、青少年育成事業としてNPO大治が「サツマイモ」の植え付けから収穫まで企画、ロータリー枠5口確保しておりますので、お子様・お孫さんと体験してください。希望者は横井まで。

家田安啓君

桜も散って、新緑の季節になりましたね。

板津和博君

地区研修・協議会にご参加の皆様、お疲れ様でした。

伊藤英毅君

本日は村の神社のお祭りです。今年は年番でお仕事をして来ました。1年村が無事であります様に。

児玉憲之君

地区研修・協議会に参加の皆様、お疲れ様でした。

水野 真君

良い陽気になりました。老人には幸せです。

中澤浩一君

地区研修・協議会参加の皆さん、ご苦労様でした。大類隼人氏の講演、感動しました！！

小倉廣三君

地区研修・協議会参加の皆さん、お疲れ様でした。

酒井和雄君

春爛漫、人同じからず。

竹田竜一郎君

昨日の地区研修・協議会へ出席された方々、お疲れ様でした。本日の発表者の方々もよろしくお願いいいたします。

武井 正君

昨日、地区研修・協議会に初めて参加しました。皆様お疲れ様でした。

田中正博君

横井君に頂いた紅葉の苗木が育って立派な若葉をつけました。社員も感心しています。有難うございました。

合 計 37,000円

第一分科会 加藤春視君



2023-2024年度の地区研修・協議会が、ホストクラブ、名古屋空港ロータリークラブにて4月9日（日）に名古屋マリオットアソシアホテルにて開催されました。出席者は総勢1831人、地区委員3名を含む23名の皆さん

が出席され、約1日、ロータリーについて勉強をしました。

酒井法丈ガバナーエレクトの点鐘にて、開会された。籠橋美久ガバナーより参加者に対して、激励と励ましを頂戴した。酒井法丈ガバナーエレクトより所信表明を頂戴した。まず、国際ロータリー、ゴードン R.マッキナリー会長の国際ロータリーテーマ「CREATE HOPE in the WORLD」世界に希望を生み出そうと熱く語られ、続いてガバナー地区方針をさらに力強いお言葉で熱弁を振るわれました。地区方針「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！」

培おうプライド

- 私たちは、独創性があり、起業家精神にあふれ、困難にもくじけない。
- ロータリーとは何か、なぜ重要なのか私たちは判っている。
- ロータリーが地域社会、世界、そして人類にとって欠かせない存在であるという信念を持ち続け、ロータリーを愛し、関わる全ての人たちを思いやり、希望（未来）を生み出す存在である気概。

育もうブランド

- ロータリークラブが地域社会からその存在を認められどいう団体組織として活動し、国際率仕団体として認められる。
- ロータリーが会員と奉仕を受ける地域社会の両方を支える組織となり、知られるようにならなければなりません。
- 会員の積極性を引き出し、充実したクラブ体験を提供できれば、クラブはより強く、より魅力的で、より楽しいものになります。

そして未来へ！！

・そしてロータリーの未来に向かおう

次に、特別講演 講師 大類隼人、演題「12年の途上国支援活動駆り立てるものは」

公衆衛生 コロナの折、外科医として、海外で自己資金で活躍中にロータリーと出会い、グローバル補助金の活用を知った。ハイチ、日本、バングラディシュ、ブルキナファソで、貧困と資源 生まれながら変えられない運命を知る。ハイチで、シスター須藤昭子医師が、結核医療と闘い、30年の夢が実現される、日本では助かる命が、助からない。ハイチのマザーテレサと、一緒に肺炎と闘う。次に、ロータリーにおける危機管理。ロータリーにおける危機管理の始まりは、2004年 大阪世界大会におけるセクハラ暴露事件。RIの対応は留学生を虐待・ハラスメントから守るために、青少年交換プログラム実施要件として3つの条件を提示

- ①地区または青少年交換委員会を法人化すること。
- ②その法人は虐待及びハラスメント防止のための保険に加入していること。
- ③各地区には危機管理委員会が設置されていること。

ロータリー章典2.120「青少年保護」

2006年ロータリー章典2.120「青少年保護」

「RIは、ロータリーの活動に参加する全ての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、その配偶者、ボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、精神的虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。」

RIのハラスメントに関する規定の要点

- RIは虐待およびハラスメントに対して、いかなる違反も法規適用する。（ゼロ容認方針）
- セクハラが起こった場合、クラブの役員が知った時から72時間以内にRIに報告しなければならない。怠った場合はクラブの認証を取り消す。
- 加害者が有罪と宣告された場合、それに関与したロータリアンについてはクラブは会員の身分を終結する。これを怠った場合は、クラブの認証を取り消す。
- ロータリークラブの会合・行事・および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告した人への報復が起こらないようにする。



## 2760地区「危機管理計画」の概要

### 1 危機管理チーム

ガバナー、地区幹事、危機管理委員会委員。必要に応じ、クラブ会長、クラブ幹事、クラブ青少年関係委員長。

### 2 危機の発生とその対応手順

① 事故 ② 感染症③災害④ 虐待及びハラスメント④ 犯罪による被害及び加害。

### 3 危機の解決

対応手順の評価

### 4 報告の方法

最後に

地区研修・協議会のまとめ 岡部次期地区研修リーダー、次期ホストクラブ挨拶、名古屋錦RC、講評：竜橋ガバナー、お礼の言葉：中林実行委員長、閉会点鐘：酒井ガバナーエレクトで閉会となりました。

### 第2分科会 山田尊久君



第2分科会はクラブ運営部門の分科会で副会長・SAA・会場運営・プログラム・クラブ奉仕・親睦活動・ロータリー情報の各委員長が参加されています。

テーマはクラブが中心、クラブ奉仕の重要性についてです。杉浦定文次期地区研修実行副委員長より、なぜクラブ研修が重要かについて話されました。最新情報を既存会員に知ってもらうこと。新会員に対しては、ロータリー以外のやりがいのある居場所を作ってあげること。そして自分のクラブを好きになってもらうことが大切だと話されました。次に鈴木一作元RI研修リーダーよりクラブ奉仕・運営の重要性について話を聞きました。

素晴らしい真のロータリアンが増えれば世の中は良くなります。例会は親睦と学びの場であります。クラブ会員としてのロータリアンの義務は、まず例会に必ず出席し、会員同士は積極的に交流することです。ロータリークラブの責務は魅力的で価値あるクラブ運営をすることです。クラブ行事のための例会の充実こそがロータリーと社会の発展につながることを忘れてはなりません。居心地の良いクラブとは、例会はほっとする場、憩いの場、明るく楽しい場、懇談と交流の場、新入会員がゲストを含め誰もが疎外感を感じない配慮が大切です。「ロータリーは人生を豊かにする」

という言葉で締められました。私はロータリー情報委員長としてクラブ奉仕や研修会に取り組みながらこの言葉を大切にしていきたいと強く感じました。

### 第3分科会 大西晃弘君



第3分科会は「ロータリーの公共イメージとは」というテーマに沿って4つのプログラムで構成されていました。最初のプログラム「ロータリー公共イメージの必要性」ではロータリー活動をできるだけ多くの方に知

ていただき、ロータリーブランドを確立していくことの重要性を、2つ目の「My Rotaryの登録とラーニングセンターの活用」では我がクラブの児玉さんが、My Rotaryに登録することで利用できる様々な仕組みとその活用方法を、3つ目の「公共イメージ向上のためのSNS活用法」では個人のSNSを使ってロータリー活動を発信する事例やその方法を、そして最後のプログラム「ロータリーの友に関して」では横読（つんどく）になりがちなロータリーの友の面白さを、それぞれ分かりやすく説明されました。全体を通じて、RI・地区・全てのクラブが会員減少に危機感を持っており、ロータリーのイメージを様々な手法を使って向上させる事が会員増強につながる事、そのためには全てのクラブに内向きではなく外向きの広報活動が求められている事を強く感じた分科会でした。私個人としては次年度の公共イメージ向上委員長として、地区の公共イメージ向上委員会に積極的に利用して次年度の広報活動をより効果的なものにしていきたいと感じました。

### 第4分科会 中澤浩一君



社会奉仕委員会と国際奉仕委員会合同による、第4分科会のテーマは酒井ガバナーエレクトの方針に沿って、「プライドを持ってロータリアンのブランドで奉仕活動を」と、～未来に繋がる奉仕活動～、これをテーマと

して開会されました。

冒頭に次期地区ロータリー奉仕副委員長から、クラブ奉

仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕とロータリーの4つの奉仕活動の紹介があり、その後次期地区社会奉仕委員長の名古屋葵クラブ 加藤久雄氏と同じく次期地区国際奉仕委員長の豊田クラブ渡邊寿也氏のリーダー挨拶及び方針発表後、地区社会奉仕・国際奉仕の次期各副委員長より、具体的な取り組み例や方向性が紹介されました。

社会奉仕は、前日4月8日土曜日に開催された知多半島佐久島での地元高校生と合同、海岸クリーン作戦が紹介されました。同時に環境学者である籠橋ガバナーのご子息による、環境講演も開催されたそうです。また、社会・国際共通事項であるRCC（ロータリー地域社会共同隊）の提唱がありました。2760地区は未だ84クラブ中、17クラブしかRCCを保有しておらず、一般の方と共にロータリーの存在価値を向上させたい方向性が示されました。

国際奉仕では、ここ数年地区で取り組んでいるラオス等における水の衛生・手洗いトイレの設置、緑化事業(ロータリーの森)の紹介がありました。これに対する各クラブの協力体制に対する感謝の意がありました。しかしながら過去における浅井戸による、砒素中毒の例も紹介され、事業の重さを痛感したところです。また、経験の薄いクラブの取り組みとして、先ずは学校視察の事例が紹介され、一歩を踏み込む大切さの紹介もありました。

次年度方針として、実施した各クラブからのアンケート調査結果をリソースとしアフターコロナの次年度は情報提供や人材紹介等を中心とした各クラブの背中を押す役割に徹すると報告がありました。また、東京都に次ぐ28万人の外国人労働者を雇用する当地区には、その子供達の学力低下や非行問題が犯罪要因になっているケースに鑑み、外国人の様々な問題解決に、各クラブがロータリアンとしていかにアプローチできるか検討いただきたいと示されました。

#### 第5分科会 黒野晃太郎君



ロータリー四つのテストに照らし合わせた会社案内。講師は鬼頭秀幸次期職業奉仕委員長（豊橋ゴールデンRC）、加藤徹次期職業奉仕副委員長（あまRC）。会社の基本理念として四つのテストに照らし合わせながら事業

を行っている。

心に残っている言葉

- ・事故後の処理費用は通常より安く行っている。（鬼頭）
- ・会社発祥の地に地域の人々が利用できる施設を作った。（加藤 徹）
- ・職業奉仕とはという質問に、ロータリアンになることが憧れであった。それ故自らの職業を通して奉仕活動を行うことが自然な事であり、喜びでもある。

URLから閲覧可能

2. 四つのテストに照らし合わせた会社案内

- a. 1～24頁 職業奉仕委員長 鬼頭秀幸次
- b. 25～45頁 職業奉仕副委員長 加藤 徹



<https://online.fliphtml5.com/enmst/tpoc/>

#### 第6分科会 伊藤正征君



ロータリー財団とは。ロータリークラブおよび地区を通じて実施される、承認された人道的および教育的活動の支援のために寄付を受け付け、資金を分配する団体です。財団は皆様からのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てて

います。

テーマ 財団をクラブ活性化に。

初めに、お手持ちのスマートフォン・パソコンからGoogle検索、「2760地区」と打ち込むと、国際ロータリー第2760地区ガバナーホームページに入ります。分区情報・委員会・クラブ報告・お知らせ・ダウンロード・地区情報等閲覧できダウンロードをクリックしますと、ガバナー通信・アプリケーション・地区便覧から、ロータリー日本財団ハンドブックがダウンロード出来ます。また、財団ニュースも閲覧出来るので財団が何に利用しているのが、開示されているので私も小まめにニュースを見て財団について勉強をして行きたいと思います。また資金を集める。資金推進について2023-24年度 地区ロータリー財団寄付目標 4月10日1ドル150円。年次基金お一人\$150以上。日本円約19,797円以上、ポリオプラス基金\$30以上。日本

円3,959円以上、恒久基金・クラブでベネファクター1名もしくは、\$1,000以上、日本円131,978円以上。その他、地区で大口寄付者5名以上。

最後にロータリーのクレジットカード・プログラム。マスターカード・ダイナースクラブロータリーカードを作って、使って、奉仕活動に役立てましょう！

ロータリーのクレジットカード・プログラム					
	マスターカード			ダイナースクラブ	
	スタンダード(個人)	ゴールド(個人)	法人	クラブ/地区/委員会 カード	個人
デザイン					
年会費	無料	10,000円	3,000円	無料	22,000円
ポリオ根絶 支援資金	利用額 0.3%	利用額 0.3%	利用額 0.5%	利用額 0.3%	利用額 0.3%
		年会費 3,000円	年会費 1,500円		入会報奨金 5,000円

### 第7分科会 北野庸夫君



青少年奉仕関連の委員会です。インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換等、ロータリーの奉仕活動の中でも大変大切な活動をしている委員会だと感じました。

以前は、あまRCもインターアクト（美和高校）活動をしておりましたが、現在は中断しています。

青少年交換のみにりましたが、将来的には、学校の先生の許可が必要ですが、インターアクトの復活等も、考えてゆかねばと思っています。

### 第8分科会 稲垣秀樹君



2023-24年度の米山記念奨学委員会のテーマは「未来に向かって、平和の懸け橋となろう」です。事業の目的は、将来、日本と世界とを結び「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー活動のよき理解者となる人材を育てることにあります。

米山奨学生は、奨学金をもらうときだけでなく、その後も学友会に所属することで、ロータリークラブとの関係を続けることができ、また我々ロータリアンも、彼ら奨学生から学ぶことがとても多いはず。寄付金のほとんどは、

奨学金に使われるほか、奨学生・学友関係費・地区や世話クラブへの補助費などの事業費に使われており、財政の健全性・透明性を確保するため、厳正な資金管理がされています。寄付金は奨学生の安定財源としての普通寄付金と、任意寄付の特別寄付金の2種類で構成されています。2760地区は、寄付をいただく法人数が全国1位であるため、寄付金総額はトップクラスですが、一人当たりの寄付金額は全国平均をわずかに下回っています。多くの寄付金があれば、迎い入れる奨学生の数も増えることになります。引き続きご支援をお願いします。

次年度は新たに32人の奨学生を迎えることとなり、前年度からの継続奨学生と合わせて51人となります。冒頭のビデオ紹介の中に、今は亡き斎藤直美元米山奨学記念館理事長の挨拶が印象的でした。もっと、ロータリアンは奨学生と大いに遊びましょう。それが大きな絆となって、人間関係の構築に繋がります。奨学生から学ぶことも多いはず。す。

### 第9分科会 武井 正君



私と松村君、服部君、山田朝子君で入会3年未満の新会員分科会に参加してきました。テーマは「ロータリーを知ろう」です。

最初に酒井ガバナーから「ロータリーを最初から好きな人はいない。わかっている人もいない。だから楽しみながら慣れていってください。どう楽しむのか、それはやはり会員同士の親睦です」とご挨拶がありました。次に3名のバスターガバナーによるトークセッションがありました。それぞれの方の入会動機や活動の歴史などが紹介された後、「ロータリー戦略計画であるビジョンとミッション、そしてDFIと呼ばれる多様性・公平さ・インクルージョン（組織に包まれた）を大切にしなければならない。更に重要なのは、行動計画を時代に適応したものに進化させなければならない。すなわち適応力を高めることである」とここに一番力を込めてお話されていました。そこが私たちの企業経営にも繋がる事でもあり、大変印象に残りました。

最後に、今日配布されました「今日からロータリアン」を熟読しさらに理解を深める次第です。